

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成29年度）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	3 2 6 0 4
研究 代表者	部局	社会情報学部		
	職	准教授		
	氏名	荒川 潔		

1. 研究種目名 基盤研究(C)(一般) 2. 課題番号 15K03453

3. 研究課題名 移行期における次世代自動車の開発と普及のための税制と規格, 規制の理論・実証分析

4. 補助事業期間 平成27年度～平成30年度

5. 研究実績の概要

H29年度は、自動車税制が消費者の車種選択に与える影響の実証分析を行い、その成果を論文「Consumer Valuation of Future Costs versus Purchase Prices: A Study of Japan's Auto Market」にまとめた。具体的には、Berry et al. (1994)のランダム係数ロジットモデルを用いて、2006年から2015年までの日本の自動車市場における車種選択とエコカー減税などとの関係を分析した。その際、自動車の維持費をモデルに組み込むことで、消費者が将来の費用をどの程度重視するのかについて着目した。その結果、消費者は将来の燃料費、将来の維持費、購入価格の順に評価すること、つまり将来の費用を現在の費用より重視することを明らかにし、海外を事例としたSallee et al. (2016)などの先行研究とは異なる結果を得ることができた。この結果から、自動車税制が技術革新に強く影響を与えること、そして次世代自動車の普及には維持に関する税制上の優遇が効果的であることを明らかにした。

また、税制が製品開発に与える影響を分析し、税区分が技術革新に強く影響を与えることを明らかにし、論文「Optimal Commodity Taxation with Tax Brackets under Vertical Product Differentiation」を学術図書に掲載した。そして、太陽光発電や電気自動車の相互接続に関する経済的な問題と相互接続を促す制度設計のための政策課題に関する論文「電気自動車とスマートグリッドの接続の経済効果と政策課題」を大学紀要に掲載した。

6. キーワード

自動車税制 ランダム係数ロジットモデル

7. 現在までの進捗状況

区分 (3) やや遅れている。

理由
H29年度は、自動車税制と消費者の車種選択との関係について実証分析を行った。この研究成果は国際学術雑誌に投稿中である。現在、海外を事例とした研究との比較により、日本の自動車市場の特徴を明らかにする作業を行っている。当初の研究計画より若干の遅れが生じているものの、それ以外には特に問題は生じていない。

2 版

8．今後の研究の推進方策

H30年度は、自動車税制の市場に与える効果の国際比較を行う。そのため、海外を事例とした先行研究のサーベイを行うとともに、自動車税制が技術革新に与える影響をまとめる必要がある。現在、米国市場の先行研究の分析が完了しており、今後は欧州やアジア諸国の分析を行う。

9．次年度使用が生じた理由と使用計画

自動車関連データの入力作業が完了していないため、次年度使用額が生じた。2016年度のデータの入力を残すだけなので、H30年度の前半に完了する予定である。

10．研究発表（平成29年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1．著者名 Arakawa Kiyoshi	4．巻 -
2．論文標題 Optimal Commodity Taxation with Tax Brackets Under Vertical Product Differentiation	5．発行年 2017年
3．雑誌名 Applied Approaches to Societal Institutions and Economics	6．最初と最後の頁 287～301
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1．著者名 荒川 潔	4．巻 26
2．論文標題 電気自動車とスマートグリッドの接続の経済効果と政策課題	5．発行年 2017年
3．雑誌名 社会情報学研究	6．最初と最後の頁 1～14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

1 1 . 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

1 2 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4 . 備考

-